

Vシリーズピストンポンプ



特長

- 低騒音
○各シリーズとも全圧力域にわたり低騒音化を実現しています。
- 高効率
○損失動力が小さいため、油温上昇を低減できるので、タンク容量を小さくできます。
- 高信頼性
○高応答、高安定性、長寿命を有するので、主機の信頼性を向上させることが可能です。

形式記号説明

●プレッシャコンペンセータ制御

※ — V ※ ※ A ※ ※ ※ — ※ ※ ※ ※
1 2 3 4 5 12 15 16 17

●コンビネーション制御 (自圧式)

※ — V ※ ※ C ※ ※ R H X — ※ ※ ※ ※
1 2 3 4 7 8 12 13 15 16 17

●コンビネーション制御 (電磁操作弁式)

※ — V ※ ※ C ※ ※ R J ※ X — ※ ※ ※ ※
1 2 3 4 7 8 12 13 14 15 16 17

●2圧制御

※ — V ※ ※ D ※ ※ R ※ X — ※ ※ ※ ※
1 2 3 4 9 10 12 14 15 16 17

●パワーマッチ制御

※ — V ※ ※ SA ※ ※ ※ ※ — ※ ※
1 2 3 4 6 11 12 15 16

1 適用流体記号 (対応機種・使用条件はA-5頁参照)

無記号：石油系作動油
W：水・グリコール系作動油
F：りん酸エステル系作動油

2 基本形式

V：Vシリーズピストンポンプ

3 ポンプ容量

8：8.0cm³/rev
15：14.8cm³/rev
23：23.0cm³/rev
38：37.7cm³/rev
50：51.6cm³/rev
70：69.8cm³/rev

4 制御方式 I (対応機種はA-4頁参照)

A：プレッシャコンペンセータ制御
C：コンビネーション制御
D：2圧制御
SA：パワーマッチ制御

5 6 圧力調整範囲 (圧力調整範囲表参照)

7 9 低圧圧力調整範囲 (圧力調整範囲表参照)

8 10 高圧圧力調整範囲 (圧力調整範囲表参照)

11 FC弁差圧

A：0.7MPa { 7kgf/cm² }
B：1.4MPa { 14kgf/cm² }
C：2.1MPa { 21kgf/cm² }

12 軸の回転方向 (軸端より見て) (対応機種はA-4頁参照)

R：時計方向 (右回転)
L：反時計方向 (左回転)

※右回転と左回転の組替えはできません。

13 制御方式 II

H：自圧式
J：電磁操作弁式

14 電磁操作弁電圧記号

A：AC100V (50/60Hz)、AC110V (60Hz)
B：AC200V (50/60Hz)、AC220V (60Hz)
N：DC12V
P：DC24V

15 配管接続方向 (対応機種はA-4頁参照)

無記号：アキシヤルポート
X：サイドポート

16 デザイン番号 (デザイン番号は変更することがあります) ★1

20：ポンプ形式V8、V50
95：ポンプ形式V15、V38
30：ポンプ形式V23
《制御方式 I がA、CH、SAの場合》
35：ポンプ形式V23
《制御方式 I がCJ、Dの場合》
60：ポンプ形式V70

17 制御方式 III

無記号：リモートコントロール制御無
RC：リモートコントロール制御有

注) ★1 新旧互換性についてはA-68頁を参照ください。

Vシリーズピストンポンプ搭載の油圧ユニットピストンパックはN-2頁、NDJシリーズニューダイパックはN-17頁、NDシリーズミニパックはN-22頁、NDシリーズニューダイパックはN-27頁、NTシリーズSSS MARK-IIはN-30頁を参照ください。